

ご近所の お医者さん

□
748
□

今井内科小児科医院長 **今井真さん** 一大阪狭山市



セカンドオピニオン

病気の診断や治療方針について、特に手術が必要となるような大切な局面で、主治医以外の医師に別の視点から意見を聞くことを「セカンドオピニオン」と言います。主治医から示された検査結果や診断内容を基に、別の医師の考えを聞くことで、その説明をより深く理解

し、患者さん自身が納得して治療

を選ぶための仕組みです。主治医の診断を否定するものではなく、理解を深めるための前向きな機会と言えます。

大切な点は、セカンドオピニオンは

納得でききる治療を選択

「診察」ではなく「相談」であることです。新たな検査は基本的に行わず、主治医から提供された情報を共有した上で意見を聞きます。そのため、多くの医療機関では通常の外来とは別に、予約制で行われています(相談のため、原則として自費診療となります)。

方で、転院して改めて診察を受ける場合は通常の保険診療となり、制度としては異なります。

今かかっている主治医に「別の意見も聞きたい」と伝えることに不安を感じる方もおられますが、患者さんが納得して治療を受けることは医師にとっても重要です。よく話し合うことで、むしろ信頼関係が深まることもありま

そ、複数の医師の考えを聞くことは自然なことです。

その後は主治医の元に戻り、内容を共有して治療方針を考えていくことが一般的です。主治医に知らせず医療機関を次々と受診する、いわゆるドクターショッピングとは異なります。

ご近所に普段からのかかりつけ医がおられる場合は、まず、その先生に気持ちを伝えてみるのも一つの方法です。必要に

応じて、セカンドオピニオンを受ける際の段取りについても相談に乗ってもらえることもあります。

医療の最終的な目的は、患者さんが納得して治療を選ぶことです。そのために、私たち医師は患者さんの病気に向き合うパートナーとして、一緒に考える存在でありたいと思っています。

(府医師会府医ニュー入編集委員会委員長)